

2016 8/9 第19号

ふくしま 再生 短信

7/14 フェリス女学院大学生企画 VOL.6 訪問
福島再生おしゃべりカフェ@横浜 ～ふくしまの想いを包もう！ 餃子編～

【背景写真】焼きあがった餃子たち



【写真左上から】
餃子づくり(1)。餃子づくり(2)。焼き上がった餃子に舌鼓。
【中央写真】想いを包むそのとき。

【写真右上から】
フェリス女学院大
高雄ゼミスタディーツアー報告。東大院
生の発表。カフェの感想の共有。

✕ 再生のレシピ ✕



フェリス女学院大学

1965年設立、本部は横浜市泉区緑園4-5-3（緑園キャンパス）。同地に文学部と国際交流学部、横浜市中区山手町の横浜キャンパスに音楽学部がある。「For Others」という教育理念を掲げている。【写真】カフェが開催された食堂棟（右の建物）

2016年7月14日午後5時、フェリス女学院大学緑園キャンパスに国際交流学部准教授・高雄綾子さん【写真：右】を訪ねた。高雄さんが指導にあたっている「ふくしま再生おしゃべりカフェ」に参加し取材するためである。このカフェは「飯舘村のスタディーツアーを通じて、日本や世界の環境問題を足もとから考える、フェリス女学院大学学生有志のグループ（facebook:@fukushima.ferris.cafe）」により既に5回開催されており今回は第6回目、飯舘村の菅野宗夫農園のクリーンハウスで栽培された青梗菜（チンゲンサイ）を使って福島名物「円盤餃



子」を参加者が作り試食し感想を述べ合う企画である。

餃子づくりはA～D4チームに分かれ、それぞれ春菊・トマト・ミョウガ・パクチーを具として加えて一人ひとりの「想い」を包んだ。焼き上がった餃子の試食の前後、フェリス大生の「飯舘村スタディーツアー」の報告、東大から参加した院生たちが飯舘村で進めているプロジェクトの紹介が行われた。最後に福島県と飯舘村のイメージのトーク、餃子の感想

共有の場が持たれ、お礼とま

めのスピーチで高雄さんは「このカフェは新しいネットワークの形を提案している」と結んだ。【左：全員で記念の一枚】（文責&撮影・若林一平）

